

天神塚古墳(笛吹市)

正面の高まりが天神塚古墳/円墳/6世紀後半の築造/左手に白い標柱が立っている/東側から見たところ





てんじんつかこふん
天神塚古墳

直径35m、高さ4m程の土盛墳。円墳で南に開く横穴式石室が残り、全長は8m。

出土品として須恵器の埴瓶や大甕の一部が確認されている。平成13年度に発掘調査が行われ、石室奥壁前で床の一部が確認され、須恵器や土師器の破片が出土した。

6世紀後半に造られ、7世紀初めまで追葬が行われていたと思われる。



天神塚古墳 石室発掘状況

山梨県・春日居町

正面に横穴式石室が開口している/南側から見たところ





これが横穴式石室



左手から見たところ



石室の上から見たところ



こんな感じ



右手から見たところ



こんな感じ



西側から見たところ



北東側から見たところ



さて、ここは近くにある石尊神社



やまなしの歴史文化公園

石尊神社

かつては三柱大神と呼ばれ、崇神天皇・天照大神・阿夫利大神を祭っていた。

第2次世界大戦後は、石尊神社として石尊大権現を祭る。

農耕には水が必要なので、水の神として石尊大権現を祭ったと思われる。石尊大権現は、神奈川県丹波山の阿夫利山等のご神体を勧請した。



石尊神社拝殿 天月舟

山梨県・春日居町

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huehuki_tenzin/

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/vyashio.htm>

<http://obito1.web.fc2.com/fuefukikita.html>

